

## 新聞やテレビなどが新商品に注目

合同プレス発表会でチャンスをもらっています



株式会社  
岡本吉之丞商店  
代表取締役  
岡本 耕至 さん

弊社は業務用酒販業を手掛け

る企業ですが、平成18年に全く違う分野に進出してみようと、国立大学法人福井大学とともに「健康」をキーワードにしたベンチャー企業「身のこなしラボラトリー」を創業。同社では特に、「脳と筋肉をうまく使って上手に体を動かすことが重要」との理念の下に事業展開を進め、昨年「マッスルアライブ」という筋活動センサーを発売しました。

これは、筋電計の技術を応用した装置で、筋肉を動かす際に脳から筋肉へと送られる電気信号を測定するものです。従来の筋電計は非常に高価でしたが、それを手軽な値段で、しかも誰でも扱えるものにしようと開発しました。小型化（幅28mm×高さ44mm×厚さ12mm）にも努め、

総重量はわずか15g。これを測定したい部分の皮膚に貼り付けるだけで、瞬時に音の変化と光の点灯で筋肉の働きを知らせます。正しいフォームで効果的なトレーニングを行ってもらいたいと商品化しました。

しかし、商品は完成したものの、立ち上げたばかりの会社で知名度がない上に販売ルートも確立していない中、どう売り込んでいくかという課題に直面。そんなときに福井商工会議所が新たに「新商品・新サービス合同プレス発表会」を始めると知り、早速エントリーしました。

これは新商品などを開発した企業が集まり、それを記者などの前でプレゼンするというもの。商工会議所からは、事前に当日配る資料のまとめ方やプレ

ゼンの方法なども丁寧に教えてもらえたのでとても助かりました。

そして、その効果はすぐに表れました。発表会で興味を持ってくれた新聞社から取材を受け、後日、福井新聞などに記事が掲載されました。さらにそれをきっかけに、NHKやテレビ東京などの番組でも紹介され、話題となりました。今では商品も社名も徐々に知られ始め、問い合わせも増えてきています。

こうした機会をつくってくれた商工会議所にはとても感謝しています。また、今でも必要所でもらえるアドバイスが大変役立っています。これからも商工会議所のサポートを得ながら、新たな分野に挑戦していきたいと考えています。

## 担当者からひと言



福井商工会議所  
中小企業総合支援センター  
会員サービス課長  
寺川 直輝

「合同プレス発表会」は、宣伝のための費用や人材が足りずチャンス逃している中小企業に、自社の商品やサービスをPRできる場をつくりたいと、今年4月にスタートさせました。プレス側からも「地元中小企業の情報が一度に手に入る」と評価をいただいています。

同事業では、発表の場をセツトするだけでなく、プレス側からの意見を基にした商品改良のアドバイスなども実施しています。さらに、資金繰りや販路、PRなどの面でもサポートを行い、事業効果を高めています。福井にも岡本さんのように頑張っている企業がたくさんあります。こうした企業にもサポートが当たるよう、これからもバックアップを続けていきます。